

科目名称：	日本事情 I	
担当者名：	蘇 哲	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>1-6回は、入国直後の日本での生活・日本での学習方法を学ぶ（生活指導・学習指導）。</p> <p>7-15回のテーマ：大学での勉強に役立つ日本に関する知識を学び、日本の文化、社会構造、日本人の行動・思考様式を理解し、文化の違いを超えるコミュニケーション能力を育成することを目的とする。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①留学生活に早く慣れ、日本人学生と親しく交流できる。</p> <p>②石川県の風土・歴史・文化・生活習慣・日本人のものの考え方を理解し、積極的に日本社会に溶け込む。</p> <p>③自国と他国との比較の視点から、日本の法律・社会的ルール・大学の規定について理解を深める。</p>		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		50	50		100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス：履修登録の注意事項、単位修得要件、生活常識：交通事情、ごみの出し方、外国人登録、銀行口座の開き方	『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』22p~33pを読んでおくこと	60分
第2回 留学生のための法律知識：資格外活動・ビザの更新、アルバイトの時間制限と禁止事項、アパートなどの契約	「外国人の在留手続 資格外活動の許可」（入管法第19条）を読んでおくこと	60分
第3回 日本人の食生活、日本の物価、消費税、	『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』10p~13p・18p~21pを読んでおくこと	30分
第4回 生活管理、国民健康保険、病院	『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』12p~17p・38p~49pを読んでおくこと	60分
第5回 金沢の歴史・自然環境	インターネットで金沢の歴史・自然・食文化を調べておくこと	30分
第6回 来日前と来日後、日本に対する認識の変化についてそれぞれ10分程度の口頭発表して、ディスカッションを行う	各自で研究課題を設定して発表の準備をする	120分
第7回 日本の地理：都道府県、気象、資源、産業、交通、通信・放送、災害	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅰを読んでおくこと	60分
第8回 石川県の伝統工芸：加賀友禅・金沢箔・輪島塗・九谷焼	インターネットで「文化のポータルサイトー石川の伝統工芸ー百工比照」を読んでおくこと	30分
第9回 日本の大学：日本の大学の特徴、日本の大学の種類、日本の大学数、大学への進学率、大学改革	文部科学省ホームページ：「教育 大学・大学院、専門教育」を読んでおくこと	60分
第10回 大学のサークル・クラブ活動、ゼミナール・卒業論文、就職活動	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅰを読んでおくこと	60分
第11回 現代日本の若者文化：若者ことば、ファッション、スマホ文化、ポピュラー音楽、アニメ	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅱを読んでおくこと	30分
第12回 日本人のノーベル賞受賞者	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅱを読んでおくこと	60分
第13回 茶道、生け花、盆栽、日本庭園、陶磁器と漆器	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅲを読んでおくこと	30分
第14回 日本の国際化と留学生受け入れの環境、留学生卒業後の選択	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅲを読んでおくこと	60分
第15回 まとめ・レポート発表(プレゼンテーション)	レポート作成	180分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への関与度・授業内での発表50%、レポート50%。授業への関与が低い場合は減点対象となるので、気を付けてください。

課題に対するフィードバック

第7回から、毎回リアクションペーパーを記入してもらい、翌週授業の冒頭で全体へフィードバックを行う。

教科書・参考書

教科書：その都度プリント資料を配布
参考書：金沢市役所都市政策局文化交流部国際交流課発行『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』
アジアにおける日本研究ゼミナール著『留学生のための日本事情入門ー1冊でわかる最新日本の総合的紹介』文理閣2005年